

エ ピ ロ ー グ

さて前回まで 10 回にわたって配信してきました、  
電子小説「先生の成功ノート」、  
いかがでしたでしょうか？

改めて、ここまでお付き合いいただきまして、  
本当にありがとうございました。

以前、私自身のストーリーを  
メルマガで配信したことはあったのですが、

私以外の主人公のストーリー、  
しかも架空の主人公、"京子"のストーリーを  
配信するというのは初めての試みで  
どんな反応がいただけるのかなど、  
楽しみだったのですが、  
予想以上の反響にびっくりしております。

これまで読んでくれた方、  
感想などのメールをくれた方々、  
本当にありがとうございました。

ストーリーの感想で一番多かったのは、

「自分が今まさに京子と同じ状況にいます！」

というものでした。

- ・私も習っていた料理教室の先生に講師になることをすすめられて講師を目指しました。
- ・私もレッスンの単価を上げられなくて困っています。
- ・生徒さんが一気に辞めてしまった現在の私は京子と同じです。
- ・教室運営のストレスで家族間がギクシャクしています。

講師の方それぞれに、  
主人公、京子に起こったことと  
同じような起こっている。

あまりに多くご報告をいただいたので、  
こちらもびっくりしているくらいです。

ただ、それはそれもそのはず、  
この小説の中で、京子に起こったストーリーは、  
実際の先生方に起こった、  
ほぼ全て実話のストーリーだからこそだと思います。

劇中の久美子先生が京子にするアドバイスは、  
おこがましいですが、私が実際に、  
講師の方にお教えしている状況を  
思い浮かべながら書き進めました。

私も日々の仕事の中で、

クライアントさんの教室が良い方向に進むたびに、  
その方々と喜びを分かち合ったり、  
問題が起こった時には一緒になって悩んだり、  
そんな働き方が、私にとっての生きがいになっています。

残念ながら、習い事の教室を運営されている先生で多いのは、  
教室内での行動が気分の下がるものばかりになって、  
それが講師の日常の行動にも影響を与えてしまっている。

つらさ、息苦しさの中、教室運営をしている方が  
非常に多いということが現実としてあります。

薄利多売型の大手の教室を仕組みを使ったり、  
流行ってそうな周りの教室を真似したり、  
常に試行錯誤をしているのに、  
なかなかうまくいかない。

そんな苦悩の思いを抱きながら、  
日々、悪戦苦闘している先生も  
いらっしゃるのではないのでしょうか？

私がこの小説を通じてお伝えしたかったのは、無理をして我慢をしながらの教室運営をしなくても、気分が常に上がるような教室運営の方法が他にあるということです。

生徒さんに応援され、家族に応援され、仲間の先生にも応援される、常に " 人のぬくもり " に包まれながら、教室を運営をするやり方。

教室を運営する中で日常の生活まで、どんどん良くなっていくような働き方があることをお伝えしたい。

そのことをどうしてもあなたにお伝えしたくてこのストーリーを作ってきました。

このストーリーの中で、

何かしらの気づきや突破口を  
感じてもらえたのなら、  
こんなに嬉しいことはありません。

" つい子供にイライラしてしまう "

" ご主人さんとの関係がギクシャクしがち "

そんな時はたいていの場合、  
教室運営にも問題が起こりがちです。

教室内での講師の行動と  
日常の講師の行動は  
写し鏡のように対になっているんですね。

だったら教室運営を良くしながら  
日常の生活まで良くなるような働き方を。

あなたの教室がそうなるためのヒントを  
この小説から感じてもらえたのなら  
こんなに嬉しいことはありません。

最後にこの小説を書くためのエピソードを  
私にくれた先生方。

私の仕事を応援してくれる主人、息子、  
そしてクライアントさん。

そのストーリーをかけたのはみなさんのおかげです。

本当にありがとうございました。

2018年6月吉日

習い事心理アドバイザー  
倉地加奈子